

# 伊集院保健所感染症情報

2023年第41週（令和5年10月9日～令和5年10月15日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

## ● 定点把握感染症



今週のインフルエンザ、COVID-19 は減少しましたが、インフルエンザは例年 12 月から 3 月に流行するため、今後の動向に注意が必要です。

集団生活施設においては、飛沫感染対策としての「咳エチケット」、接触感染対策としての「液体石けん・流水による手洗い、または手指消毒」、共用部分の消毒を徹底し、有症者の早期探知・早期対応に努めましょう。また、施設内での感染症発生時のマニュアルの作成と見直しを行いましょう。

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

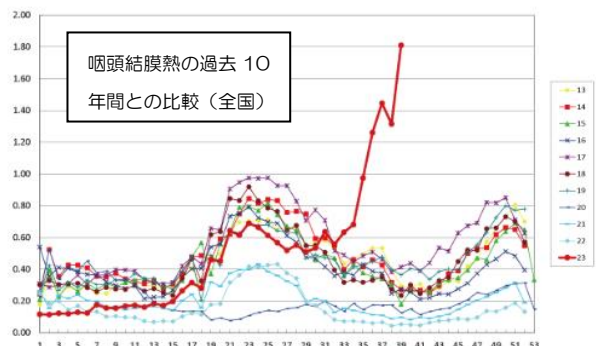
疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第38週	第39週	第40週	第41週	先週からの増減	第40週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	2.00	7.20	4.80	2.00	↘	6.86	↘
COVID-19	-	-	-	9.40	13.20	4.60	3.00	↘	5.22	↘
咽頭結膜熱	3	1	-	0.33	0.33	0.00	2.00	↗	1.06	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	2.00	3.00	1.00	1.00	→	1.22	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	0.00	0.00	0.33	0.33	→	3.80	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.33	↗	0.12	↗
手足口病	5	2	-	0.33	0.33	0.00	0.00	→	1.22	↘
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.33	0.33	0.00	↘	0.37	↗
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.82	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.08	↘
R S ウイルス感染症	-	-	-	1.00	0.33	0.33	0.00	↘	0.29	↗
基幹定点からの届出状況			該当なし							
インフルエンザ入院サーベイランス			該当なし							
COVID-19入院サーベイランス			該当なし							
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			百日咳 1（1）							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

COVID-19 の入院患者の発生動向や重症化の傾向を経時的に把握することを目的に、基幹定点での COVID-19 入院サーベイランスが始まりました。

## ● TOPIC 咽頭結膜熱が増加傾向です！

アデノウイルスの感染により、発熱、喉の痛み、結膜炎といった症状を来す小児に多い病気です。通常 7～8 月にピークを迎えますが、感染症発生動向調査週報(IDWR) 39 週（右図）によると、33 週以降増加傾向です。

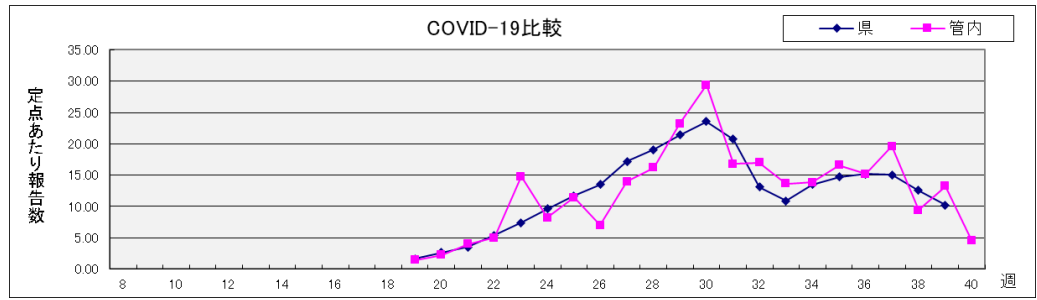
感染経路は主に接触感染、飛沫感染です。本疾患は症状消失後も約 1 ヶ月間尿・便中にウイルスが排出されるといわれているため、流水と石けんによる手洗いに努めましょう。また、うがいを行い、タオル等の共用は避けましょう。



## ● 注意すべき感染症

### ・COVID-19（新型コロナウイルス感染症）

今週の伊集院保健所管内におけるCOVID-19の報告数は、前週の43人（定点あたり4.60）から28人少ない15人（3.00）でし

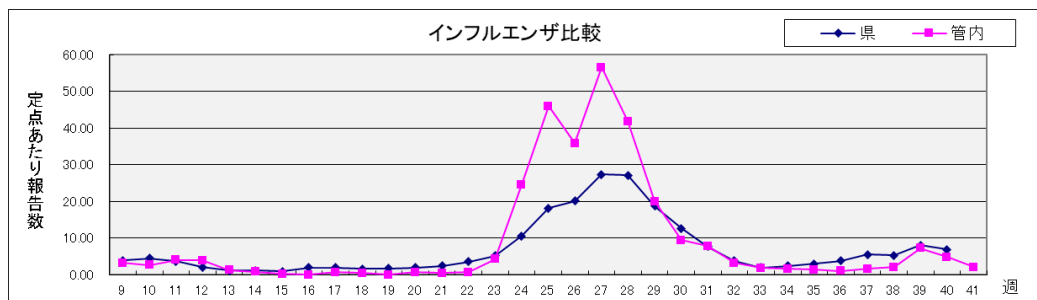


た。年齢別では、40～49歳（3人）、70～79歳・80歳以上（各2人）、0～5ヶ月・6～11ヶ月・2歳・5歳・9歳・10～14歳・30～39歳・50～59歳（各1人）の順で多い報告でした。

☆**新型コロナ療養の目安**：発症日（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日）から5日を経過し、かつ症状が軽快して24時間経過するまで（学校保健安全法も同様）。また、発症日から10日間はマスクを着用し、周りに感染させないようにしましょう。

### ・インフルエンザ

今週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、前週の24人（定点あたり4.80）から14人少ない10人（定点あたり2.00）



でした。年齢別では、10～14歳（5人）、2歳、5歳、8歳、15～19歳、40～49歳（各4人）の順に多い報告でした。

小児ではまれに急性脳症を、御高齢の方や免疫力の低下している方では二次性の肺炎を伴うなど重症になることがあります、それぞれ注意が必要です。

☆**インフルエンザ罹患後の登校基準**：発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過してから（学校保健安全法）。

### ○学校における感染症による出席停止の状況 10/9～10/15 （出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

先週に比べて、インフルエンザは増加、COVID-19は減少しました。ヘルパンギーナが1件報告されています。

学級閉鎖等の報告はありませんでした。

自治体名	疾患名	インフルエンザ	インフルエンザA型	ヘルパンギーナ	新型コロナウイルス感染症
日置市		2	4	0	5
いちき串木野市		13	0	1	2
三島村		0	0	0	0
十島村		0	0	0	0
計		15	4	1	7

#### COVID-19・インフルエンザの感染症対策

○手に着いたウイルスが、眼や鼻などの粘膜に付着することで感染します。**液体石けん**と流水によるこまめな手洗い、または**手指消毒**を行いましょう。

○着用が効果的な場面では**マスク**を着用しましょう。

例えば、せきなどの症状があるとき、受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問するとき、混雑した電車やバス等に乗車するとき、重症化リスクの高い方（高齢者・基礎疾患を有する方・妊婦）が感染拡大時に混雑した場所に行くときなどです。

○十分な睡眠と栄養バランスの良い食事をとり、体力づくりをしましょう。

○室内を適度に加湿し、換気を行いましょう。

○かかりつけ医と相談し、**ワクチン接種**を検討しましょう。

